

安全運転

ほっと NEWS

2011年3月号

今月のクイズ

トランク(またはバックドア)を一定の位置まで閉じると、オートクローザー(自動的に最後まで閉じる装置)は、エンジンが停止していても作動するか？

- ① 作動する ② 作動しない
(答えは裏面)



危険

パワーウィンドウやスライドドアでの挟まれ事故

最近、多くの車の窓がパワーウィンドウになり、狭い場所でも乗り降りが便利なスライドドアの車も増え、使い勝手が良くなってきています。その一方で、開閉時に指や首を挟まれて重傷を負う痛ましいニュースもよく耳にします。

今月は、パワーウィンドウやドアの危険性と機能を知ること、挟まれ事故を未然に防止する方法を確認しましょう。

■パワーウィンドウの挟まれ事故は子供に多い！

平成 17 年 4 月～ 22 年 3 月の 5 年間に独立行政法人国民生活センターに寄せられたパワーウィンドウによる事故報告は 23 件あり、そのうち 16 件が 10 歳未満の子供の事故で約 7 割を占めています。つかまり立ちした乳幼児や、危険に対する感受度の低い子供が保護者の不注意によって事故にあうケースが目立っています。

東京消防庁(平成 22 年 4 月発表)によると、管内で発生したパワーウィンドウの挟まれ事故で受傷者を救急搬送した事故の中には、母親が運転席から後部座席のパワーウィンドウを閉めた際に、生後 11 ヶ月の乳児の右手が挟まり小指を切断した事故や、1 歳児が操作を自分でいき、誤って手の指を挟まれ受傷した事故のほか、4 歳児が首を挟まれ窒息し、重症にいたる事故など、痛ましい事例が報告されています。



■ドアの挟まれ事故は大人の被害も多い！

平成 18 年 1 月に独立行政法人国民生活センターが発表した「自動車のドアに挟む事故」によると、被害者の約 46%が 10 歳未満の子供で、特に 2 歳児の負傷者が多くなっています。

その一方で、20 歳以上の大人がドアの挟まれ事故の被害者となる場合も約 49%を占めており、受傷した内容は、骨折、脱臼・捻挫、刺傷・切傷などとなっています。

被害にあったときの状況は「誰が閉めたかわからない」事例が大半を占めていることから、パワーウィンドウの挟まれ事故と比べて 20 歳以上の大人が受傷している割合が高い原因として、被害者以外の人(乗客)が閉めたときや、風や坂道などで自然にドアが閉まったときに怪我をすることが考えられますので、十分に注意しましょう。

■パワーウィンドウやスライドドアの衝撃力は大きい！

平成 22 年 7 月に独立行政法人国民生活センターより発表された「パワーウィンドウの安全性」によると、挟み込み防止機能が作動せずにパワーウィンドウが閉まるときの力は、平均で 34.1kgf (1cm² あたりに 34.1kg の力がかかること) あり、挟み込み防止機能が作動しているときは平均 14.1kgf になります。過去の同センターのパワーウィンドウに関する調査では、閉まる力が 30kgf の場合、上昇中のパワーウィンドウを片手で静止できる人は女性では 30%しかいないことから、挟み込み防止機能が作動しない場合、静止させることは困難なことがわかります。

また、平成 18 年 1 月に同センターが発表した「自動車のドアに挟む事故」によると、スライドドアに挟まれたときの衝撃力は 92 ～ 231kgf となり、セダンなどの押し開くドアに挟まれたときよりも 2 倍以上大きいことから、スライドドアに挟まれると重大な事故を引き起こす危険性があることがわかります。



■要注意！車の銘柄によって挟み込み防止機能の働きが異なる！

平成 22 年 7 月に独立行政法人国民生活センターより発表された「パワーウィンドウの安全性」によると、運転席の集中開閉スイッチ（各座席のパワーウィンドウを開閉する機能）と、ロックスイッチ（運転席以外のパワーウィンドウの開閉を制限する機能）は、テストを実施した全 26 銘柄の車すべてに装備されていました。

その一方で、パワーウィンドウが閉まるときに異物が挟まると、開くような挟み込み防止機能が全席に装備されているのは約 4 割程度で、閉まりきる直前のわずかな部分では、挟み込み防止機能が働かない銘柄もありました。

■挟まれ事故を未然に防止しましょう！

パワーウィンドウやドアの挟まれ事故を未然に防止するために、次のことを実行しましょう。

1. 車の取扱説明書をよく読み、機能や使用方法を理解しましょう

・挟み込み防止機能が付いている車は、機能が正常に働くかタオルなどを挟んで確認するのもよいでしょう。

2. 子供が同乗するときは、パワーウィンドウやドアのロック機能を活用して、子供にスイッチを触らせないように注意しましょう

3. 駐停車して車外に出るときは、子供を車に残さないようにしましょう

・やむをえない場合は、エンジンを切ってから運転席を離れましょう。

4. 声をかけ、目で安全を確認してから、パワーウィンドウやドアの開閉を行いましょう

5. 風の強いときや坂道などでは、ドアの開閉を無理に行わないようにしましょう

挟まれ事故を防止するため、機能や使用方法を理解して、正しく操作しましょう。

今月のクイズの答え

① 作動する

ご用命・ご相談は・・・

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087

新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F

TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921

E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp

URL <http://www.hokensystem.co.jp>



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課